

# 試験報告書

令和 6 年 4 月 2 日

(株)ケイナン 熊野工場 殿

先に御依頼のありました試験が  
終了致しましたのでご報告申し上げます。

全国生コンクリート工業組合連合会  
認定試験場第16号

新見生コン 協同組合 技術センター

〒718-0005 岡山県新見市上市8番地1  
TEL (0867) 72-8500  
FAX (0867) 72-8180  
E-mail ashin@zennama.or.jp  
ycmwk528@ybb.ne.jp

## 【全国生コンクリート工業組合連合会指定試験項目】

製品試験	1 圧縮強度及び曲げ強度	材料受入 管理試験	骨材試験	10 すりへり減量
	2 スランプ		1 ふるい分け	11 安定性
	3 空気量		2 粒形判定実積率	
	4 軽量コンクリートの単位容積質量		3 密度・吸水率	水質試験
	5 塩化物含有量		4 有機不純物	1 懸濁物質の量
設備管理 試験	1 静荷重検定	5 粘土塊量	2 溶解性蒸発残留物の量	
	2 ミキサ練り混ぜ性能	6 微粒分量	3 塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	
	3 トラックアシテータ性能	7 密度1.95の液体に浮くもの	4 セメントの凝結時間の差	
	4 塩化物含有量測定器の検定	8 単位容積質量	5 モルタルの圧縮強さの比	
	5 ゴム硬度計の検定	9 塩化物量試験		

【全国生コンクリート工業組合連合会指定試験項目】

新技セ(試) G 240051 号

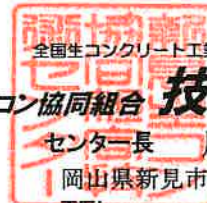
令和 6 年 4 月 2 日

# 骨材試験報告書

島根県松江市八雲町熊野 9 3 9 番地

(株) ケイナン 熊野工場

殿



全国生コンクリート工業組合連合会認定試験場第16号

新見生コン協同組合 技術センター

センター長 川本 太 間

岡山県新見市上市 8 番地 1

TEL 0867-72-8500

FAX 0867-72-8180

E-mail ashin@zennama.or.jp

御依頼の骨材試験結果は下記の通りです。

	試験方法	細 骨 材		試験方法	粗 骨 材	
種 類					2005A	
産 地					松江市八雲町	
粗 粒 率	JIS A 1102			JIS A 1102	6.83	
微 粒 分 量 (%)	JIS A 1103			JIS A 1103	0.2	
単 位 容 積 質 量 (kg/L)	JIS A 1104			JIS A 1104	1.59	
実 積 率 (%)	JIS A 1104			JIS A 1104	60.0	
粒 形 判 定 実 積 率 (%)	JIS A 1104 JIS A 5005			JIS A 1104 JIS A 5005	60.0	
有 機 不 純 物	JIS A 1105					
表 乾 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	JIS A 1109			JIS A 1110	2.66	
絶 乾 密 度 (g/cm <sup>3</sup> )	JIS A 1109			JIS A 1110	2.65	
吸 水 率 (%)	JIS A 1109			JIS A 1110	0.66	
安 定 性 (%)	JIS A 1122			JIS A 1122	5.4	
粘 土 塊 量 (%)	JIS A 1137			JIS A 1137		
密度1.95に浮く粒子 (%)	ZKT 114			ZKT 114		
塩 化 物 (%)	JIS A 5308 A.10p					
すり へ り 減 量 (%)				JIS A 1121	10.9	

備 考 ※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。  
 ※試験項目及び試験内容は依頼者の申し込みによる。  
 ※無断で複製することを禁止します。

試験方法	JIS A 1103	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格	B-2	<b>粗骨材の微粒分量試験</b>			
				新技セ(試) G 240051 号	
試験年月日		令和 6 年 3 月 27 日		令和 年 月 日	
試料	種類	2005A			
	産地	松江市八雲町			
	採取年月日	令和 6 年 2 月 17 日		令和 年 月 日	
	採取場所				
試験回数		1	2	1	2
容器の質量	(g)	①	235.4	236.8	
容器と洗う前の試料の乾燥質量	(g)	②	2314.6	2320.6	
洗う前の試料の乾燥質量	②-① (g)	m <sub>1</sub>	2079.2	2083.8	
容器と洗った後の試料の乾燥質量	(g)	③	2311.2	2316.8	
洗った後の試料の乾燥質量	③-① (g)	m <sub>2</sub>	2075.8	2080.0	
微粒分量(*)	(%)	A	0.2	0.2	
2回の試験の平均値		(%)	0.2		
平均値からの差 (0.3%以下)		(%)	0.0		
備考					
注(*) $A = \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$					
<p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。</p> <p>※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>					
試験者	岩佐 龍治				

試験責任者：谷岡 貴寿



試験方法		JIS A 1104	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格		B-3	粗骨材の単位容積質量及び実積率試験			
試験年月日		令和 6年 3月28日	新技セ(試) G240051 号			
試料	種類	2005A		令和 年 月 日		
	産地	松江市八雲町				
	採取年月日	令和 6年 2月17日		令和 年 月 日		
	採取場所					
試験条件	試料の状態	絶乾				
	試料の詰め方	突き棒				
試験回数		1	2	1	2	
単 位 容 積 質 量	容器の質量 (kg)	①	4.319	4.319		
	容器とガラスの質量 (kg)	②	5.621	5.621		
	容器とガラスと水の質量 (kg)	③	15.593	15.593		
	容器の容積 (l)	V	9.958	9.958		
	容器と容器中の試料の質量 (kg)	④	20.192	20.131		
	容器中の試料の質量 ④-① (kg)	m <sub>1</sub>	15.873	15.812		
	バットの質量 (kg)	⑤				
	バットと含水率測定のための試料の乾燥前の質量 (kg)	⑥				
	含水率測定のための試料の乾燥前の質量 ⑥-⑤ (kg)	m <sub>2</sub>				
	バットと含水率測定のための試料の乾燥後の質量 (kg)	⑦				
含水率測定のための試料の乾燥後の質量 ⑦-⑤ (kg)	m <sub>ad</sub>					
実 積 率	単位容積質量の試験値 (kg/l)		1.59	1.59		
	2回の試験の平均値 (kg/l)	T	1.59			
	平均値との差(0.01kg/l以下) (kg/l)		0.00			
備 考	試料の絶乾密度 (kg/l)	d <sub>b</sub>	2.65			
	実積率の試験値 $\frac{T}{d_b} \times 100$ (%)		60.0	60.0		
	2回の試験の平均値 (%)	G	60.0			
<p>・絶乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行わない場合は、次の式による。</p> $T = \frac{m_1}{V}$ <p>・気乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行った場合は、次の式による。</p> $T = \frac{m_1}{V} \times \frac{m_p}{m_2}$ <p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。          ※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>						
試験者	岩佐 龍治					

試験責任者：谷岡 貴寿



試験方法		JIS A 1104 JIS A 5005		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格		B-4		粗骨材の粒形判定実積率試験 新技セ(試) G240051 号			
試験年月日		令和 6年 3月 28日					
試料	種類	2005A					
	産地	松江市八雲町					
	採取年月日	令和 6年 2月 17日		令和 年 月 日			
	採取場所						
試験条件	試料の状態	絶乾					
	試料の詰め方	突き棒					
試験回数				1	2	1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	①	4.319	4.319			
	容器とガラスの質量 (kg)	②	5.621	5.621			
	容器とガラスと水の質量 (kg)	③	15.593	15.593			
	容器の容積 (L)	V	9.958	9.958			
	容器と容器中の試料の質量 (kg)	④	20.123	20.057			
	容器中の試料質量 ④-① (kg)	m <sub>1</sub>	15.804	15.738			
	バットの質量 (kg)	⑤					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥前の質量 (kg)	⑥					
	含水率測定のための試料の乾燥前の質量⑥-⑤ (kg)	m <sub>2</sub>					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥後の質量 (kg)	⑦					
	含水率測定のための試料の乾燥後の質量⑦-⑤ (kg)	m <sub>D</sub>					
	単位容積質量の試験値 (kg/L)			1.59	1.58		
	2回の試験の平均値 (kg/L)	T		1.59			
平均値との差 (0.01kg/l以下)(kg/L)			0.01				
粒形判定実積率	試料の絶乾密度 (kg/L)	d <sub>D</sub>	2.65				
	粒形判定実積率 $\frac{T}{dD} \times 100$ (%)	G	60.0				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行わない場合は、次の式による。  <math display="block">T = \frac{m_1}{V}</math> </li> <li>・気乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行った場合は、次の式による。  <math display="block">T = \frac{m_1}{V} \times \frac{m_D}{m_2}</math> </li> </ul>						
	※ 試料は依頼者サンプリングの持込による。 ※ 試料内容は依頼者の申し込みによる。						
試験者	岩佐 龍治						

試験責任者：谷岡 貴寿

試験方法		JIS A 1110		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】				
技セ試験規格		B-7		<b>粗骨材中の密度及び吸水率試験</b>				
				新技セ(試) G240051 号				
試験年月日				令和 6 年 3 月 27 日		令和 年 月 日		
試料	種類		2005A					
	産地		松江市八雲町					
	採取年月日		令和 6 年 2 月 17 日		令和 年 月 日			
	採取場所							
試験回数				1	2	1	2	
表面 乾 密 度	容器の質量 (g)	①	235.2	236.0				
	容器と表面乾燥飽水状態における試料の質量 (g)	②	2320.1	2292.5				
	表面乾燥飽水状態における試料の質量 ②-① (g)	m <sub>1</sub>	2084.9	2056.5				
	試料と金網かごの水中の見掛けの質量 (g)	m <sub>2</sub>	1690.0	1672.5				
	金網かごの水中の見掛けの質量 (g)	m <sub>3</sub>	386.7	386.7				
	試験で用いた水の温度 (°C)	-	18.0	18.0				
	試験温度における水の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	ρ <sub>w</sub>	0.9986	0.9986				
	表乾密度 $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - m_2 + m_3}$ (g/cm <sup>3</sup> )	D <sub>s</sub>	2.66	2.66				
	2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )			2.66				
	平均値からの差(0.01g/cm <sup>3</sup> 以下) (g/cm <sup>3</sup> )			0.00				
絶 乾 密 度	容器の質量 (g)	③	235.2	236.0				
	容器と絶対乾燥状態の試料の質量 (g)	④	2306.3	2279.2				
	絶対乾燥状態における試料の質量 ④-③ (g)	m <sub>4</sub>	2071.1	2043.2				
	絶乾密度 $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - m_2 + m_3}$ (g/cm <sup>3</sup> )	D <sub>d</sub>	2.65	2.65				
	2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )			2.65				
	平均値からの差(0.01g/cm <sup>3</sup> 以下) (g/cm <sup>3</sup> )			0.00				
吸 水 率	吸水率 $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	0.67	0.65				
	2回の試験の平均値 (%)			0.66				
	平均値からの差(0.03%以下) (%)			0.01				
備 考	※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。							
試験者	岩佐 龍治							



試験責任者：谷 岡 貴 寿



試験方法	JIS A 1122	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】					
技セ試験規格	B-8	硫酸ナトリウムによる粗骨材の安定性試験					
試験年月日		試料	種類	2005A	採取年月日	令和 6 年 2 月 17 日	
令和 6 年 4 月 2 日			産地	松江市八雲町	採取場所		
通るふるい	とどまるふるい	各群の質量 g	各群の質量分率 %	試験前の各群 の質量 (m <sub>1</sub> ) g	試験後の各群 の質量 (m <sub>2</sub> ) g	各群の損失 質量分率 <sup>(1)</sup> (P <sub>1</sub> ) %	骨材の損失 質量分率 <sup>(2)</sup> %
10 mm	5 mm	2210	25	301	279	7.3	1.8
15 mm	10 mm	3708	42	500	484	3.2	1.3
20 mm	15 mm	2244	26	754	707	6.2	1.6
25 mm	20 mm	632	7	1005	900	10.4	0.7
40 mm	25 mm	0	0	—	—	—	—
合計		8794	100	—	—	—	5.4
<p>備考 注<sup>(1)</sup> <math>P_1 = (1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100</math></p> <p>注<sup>(2)</sup> 骨材の損失質量分率 = <math>\frac{\text{各群の質量分率} \times \text{各群の損失質量分率}}{100}</math></p> <p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。          ※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>							
試験年月日		試料	種類		採取年月日	令和 年 月 日	
令和 年 月 日			産地		採取場所		
通るふるい	とどまるふるい	各群の質量 g	各群の質量分率 %	試験前の各群 の質量 (m <sub>1</sub> ) g	試験後の各群 の質量 (m <sub>2</sub> ) g	各群の損失 質量分率 <sup>(1)</sup> (P <sub>1</sub> ) %	骨材の損失 質量分率 <sup>(2)</sup> %
10 mm	5 mm						
15 mm	10 mm						
20 mm	15 mm						
25 mm	20 mm						
40 mm	25 mm						
合計							
<p>備考 注<sup>(1)</sup> <math>P_1 = (1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100</math></p> <p>注<sup>(2)</sup> 骨材の損失質量分率 = <math>\frac{\text{各群の質量分率} \times \text{各群の損失質量分率}}{100}</math></p>							
試験者	岩佐 龍治						

試験責任者：谷 岡 貴 寿



試験方法		JIS A 1121		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】 <b>ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験</b>			
技セ試験規格		B-13					
試験年月日				令和 6 年 3 月 29 日		令和 年 月 日	
試料	種類	2005A					
	産地	松江市八雲町					
	採取年月日	令和 6 年 2 月 17 日		令和 年 月 日			
	採取場所						
試験条件	粒度区分	H					
	球の数	10					
	球の質量(g)	4159					
	回転数	500					
通るふるいの公称目開き(mm)	とどまるふるいの公称目開き(mm)	ふるい分けた各群の質量(g)	各群の質量百分率(%)	試験前の試料の質量[m <sub>1</sub> ](g)	ふるい分けた各群の質量(g)	各群の質量百分率(%)	試験前の試料の質量[m <sub>1</sub> ](g)
80	60						
60	50						
50	40						
40	25	0	0	—			
25	20	437	9	—			
20	15	1344	28	2500			
15	10	1849	39	2504			
10	5	1152	24	—			
5	2.5	20	0	—			
合計		4802	100	5004			
試験結果の計算	試験後の試料の質量 <sup>(1)</sup> (g)	m <sub>2</sub>	4461				
	すりへり減量 <sup>(2)</sup> (%)	R	10.9				
備考							
注 <sup>(1)</sup> 試験後、1.7mmの網ふるいに残った試料の質量							
$(2) R = \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$							
※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。							
※試料内容は依頼者の申し込みによる。							
試験者	岩佐 龍治						

試験責任者：谷 岡 貴 寿





【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】

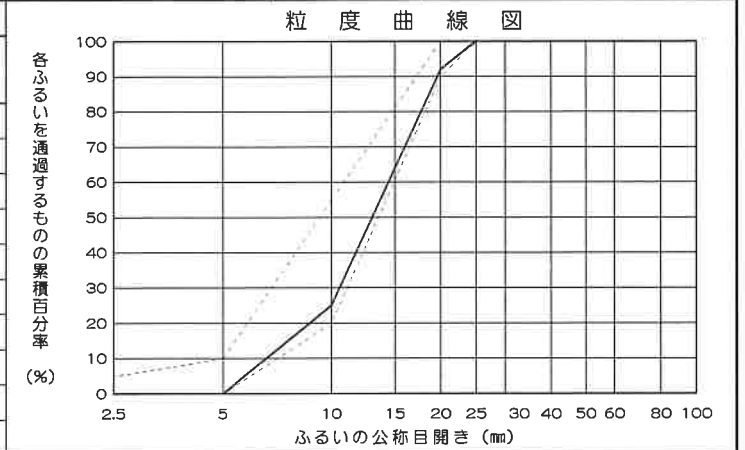
# 粗骨材のふるい分け試験

新技セ(試) G240051 号

試験方法	JIS A 1102
技セ試験規格	B-1

試験年月日	種類	2005A	採取年月日	令和 6 年 2 月 17 日
令和 6 年 3 月 28 日	産地	松江市八雲町	採取場所	

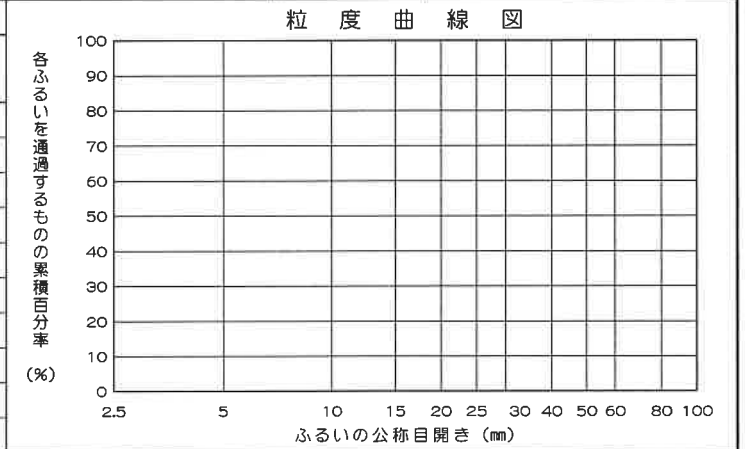
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の試料の質量(g)	4156		
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
50					
40					
30					
25	0	0	0	100	
20	324	8	8	92	
15	1167	28	36	64	
10	1609	39	75	25	
5	1037	25	100	0	
2.5	18	0	100	0	
受皿	1	0	100	0	
合計	4156	100			
試験前後の質量差(%)	0.00	粗粒率	6.83		



備考 ・粒度範囲は、JIS A 5005による。  
 ・試料は、微粒分量試験後の呼び寸法0.075mmに留まったものを使用。

試験年月日	種類	採取年月日	令和 年 月 日
令和 年 月 日	産地	採取場所	

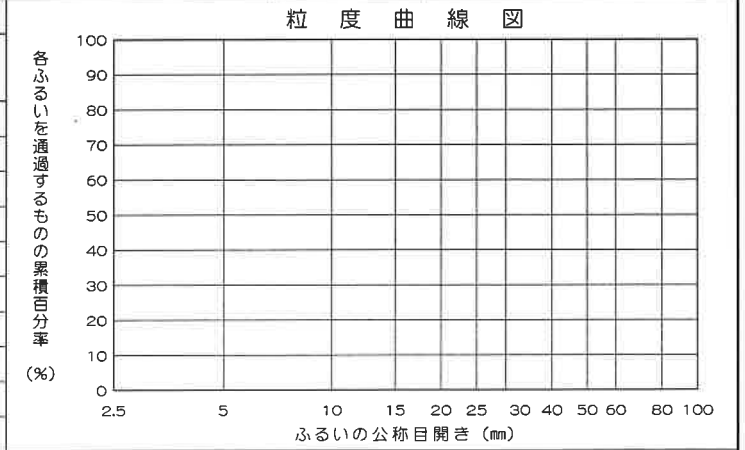
ふるい分け方法		ふるい分け前の試料の質量(g)			
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
受皿					
合計					
試験前後の質量差(%)		粗粒率			



備考

試験年月日	種類	採取年月日	令和 年 月 日
令和 年 月 日	産地	採取場所	

ふるい分け方法		ふるい分け前の試料の質量(g)			
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
受皿					
合計					
試験前後の質量差(%)		粗粒率			



備考

試験者 岩佐 龍治

※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。 試験責任者：谷 岡 貴 寿

